



平成26年9月23日秋の茶会にお手伝い頂いた方加藤瑞枝さん、大木富美代さん、杉本恵子さん、加藤桂子さん杉浦志げ子さん、西郷佐千子さん、岡田美千子さん

迷う

最近、「家族の葬式をせず海に散骨した」と言われた方がいました。

私はこのように考えます。

- 一、死者を搬送し、火葬または土葬することが葬式。その儀式を人と呼んで行うのか、それとも、人を呼ばずに行うか。また無宗教で行うか、ある宗教で行うのか。人を呼ばず無宗教で行うことも葬式。それゆえ葬式をしなかったということにはなりません。
- 二、海に散骨する前に火葬しています。火葬したことが葬式です。

普仙寺には有縁共同墓があります。ご相談下さい。

住職の短歌

平成25年に詠んだ短歌の続き([前回は平成26年9月号](#))を掲載します。

鎌倉の大本山の光明寺大殿入りて詠歌独唱

三月の滋賀の平野は麦の色若い緑が畑いっぱい

春彼岸迎えるようだ伊吹山木の芽の色がざわついている

もうすでに早咲き桜咲いているオカメ桜と三度答える

たくさんの白木蓮の花びらがざわざわざわと話し合ってる

春休み桜吹雪の校庭に少年野球のホーイソプラノ

東京は花びら散って葉の桜緑の色も生き生きしてる

増上寺三十二回大会に声張り上げて詠歌唱える

伊吹山四月半ばは新芽色薄紅も春に合ってる

善導寺八百年の大遠忌稚児も導師も念仏の中

大本山善導寺にて唱えする三上人の遠忌和讃を

知恩院御忌詠唱の大会に猊下垂示は感動のこと

光ってる滋賀の四月の緑色麦穂は伸びて木々の芽は吹く

公園の赤紫の躑躅見て君の言葉が明るくなった

緑葉と八重山吹の色が好きあの日の話し覚えてますか

薄紅も純白色も花水木君と歩いた図書館の道

たくさんの藤の花房棚の中甘い香りに君も酔ってる

稚児歩く晋山式の太蓮寺保育園児も今日は別人

静岡の駅の隣のホテルにて講演テーマひと山頭火

むくむくと木々の新芽が湧いてえ。高速道路右も左も

今見たよ君が言ってたあの街の夢という名の真っ赤な薔薇を
雨となりははははははと笑い出す女子高生の自転車二人
走ってる滋賀の平野の田の中を夏制服の中学生が
家々の瓦の屋根が光ってる梅雨の合間の滋賀の田園
見に行こう御池通りのバス停のそばに咲いてる花の梔子
たくさんの枇杷の実風に揺れている梅雨の晴れ間の農家前庭
三重県の津市の総合センターに集う人々詠歌喜ぶ
六月の雨の歩道を並び行く君の手のひら上を向いてる
米原の駅の回りは六月の雨に濡れてる田の緑色
七月の三河の平野色緑風に靡いてスイングしてる
つつつと稲の青葉が立っている琵琶湖のほとり滋賀の田園
七月の伊吹の山は深緑堂々として自信満ちてる
七夕の空を見上げて祈ろうよ叶うといいね君のお願い
雨上がり夏公園の百日紅陽射しを受けて光っていたね
その姿夏の暑さに負けてない日日草が今日も咲いてる
夏休みプール登校蝉の声ハンドマイクの声と張り合う
夏の夜の小学校の盆踊り炭坑節が今も流れる
その名前宇宙公園蝉時雨すべてのものは輪廻転生
灼熱の道路の脇に堂々と赤と黄色のカンナ立ってる
炎天の空に向かって花開く負けるもんかと赤のペチュニア

八月のスカイブルーの中を行く積乱雲の白の輝き
初めての出雲平野をバスで行く瓦は光り稲穂色づく
国譲り出雲大社の本殿の回り歩いて靈氣を浴びる
宍道湖の北側走る電車乗る夏の終わりの参拝旅行
夏陽射し宍道湖南ハイウェイ木々の間に光る水面
少しずつ実りの色になってきた滋賀の平野の田園のさま
伊吹山夏の終わりの夕姿緑の色が強くなってた
岡山の駅より乗車伯備線家の造りを見るも楽しい
石垣のお寺備中高梁の駅から見えた一瞬の景
初めての小泉八雲記念館二十五年の夏の思い出
松江にて小泉八雲住んでいた家の庭には睡蓮の池
築以来四百年の松江城天守に上り湖を見る
印度学仏教学の学会の発表を聞く松江の町で
谷川を右に左に見て進む中国山地電車の旅行
高野山御廟参道中ほどに祖師の輪塔しばし念仏
秋の日にいっぱい咲いた彼岸花紅赤色がとても綺麗だ
コスモスの花咲いている草原を君と一緒に歩いてみたい
十五夜に薄供えて月を見る離れていても心は近い
十月の伊吹の山に雲掛かる暗緑色に緊張を見る

9月23日、秋彼岸法要の日に檀信徒会館にて秋の茶会を開催しました。華頂婦人会の役員の方が、お運び、お手前をして頂きました。ありがとうございました。



平成26年9月23日秋の茶会で、抹茶を飲まれている檀信徒の皆さん

寺行事案内

土曜礼拝どうらいはい

毎週土曜日午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

次回からは

- 後編第17章 念珠
- 後編第18章 百万遍
- 後編第19章 深信因果

- 後編第20章 孝養父母

月並法要つきなみほうよう

平成26年11月8日(土)午後7時より

月に一度、檀信徒の皆様でお参りする法要です。どなたでもお参り下さい。
法要中、年回忌の祥月にあたる方のご回向もいたします。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 一枚起請文拝読
3. 詠唱奉納
4. 住職の法話